

更年期であることの診断

血中エストラジオール(E_2) 10pg/mL以下

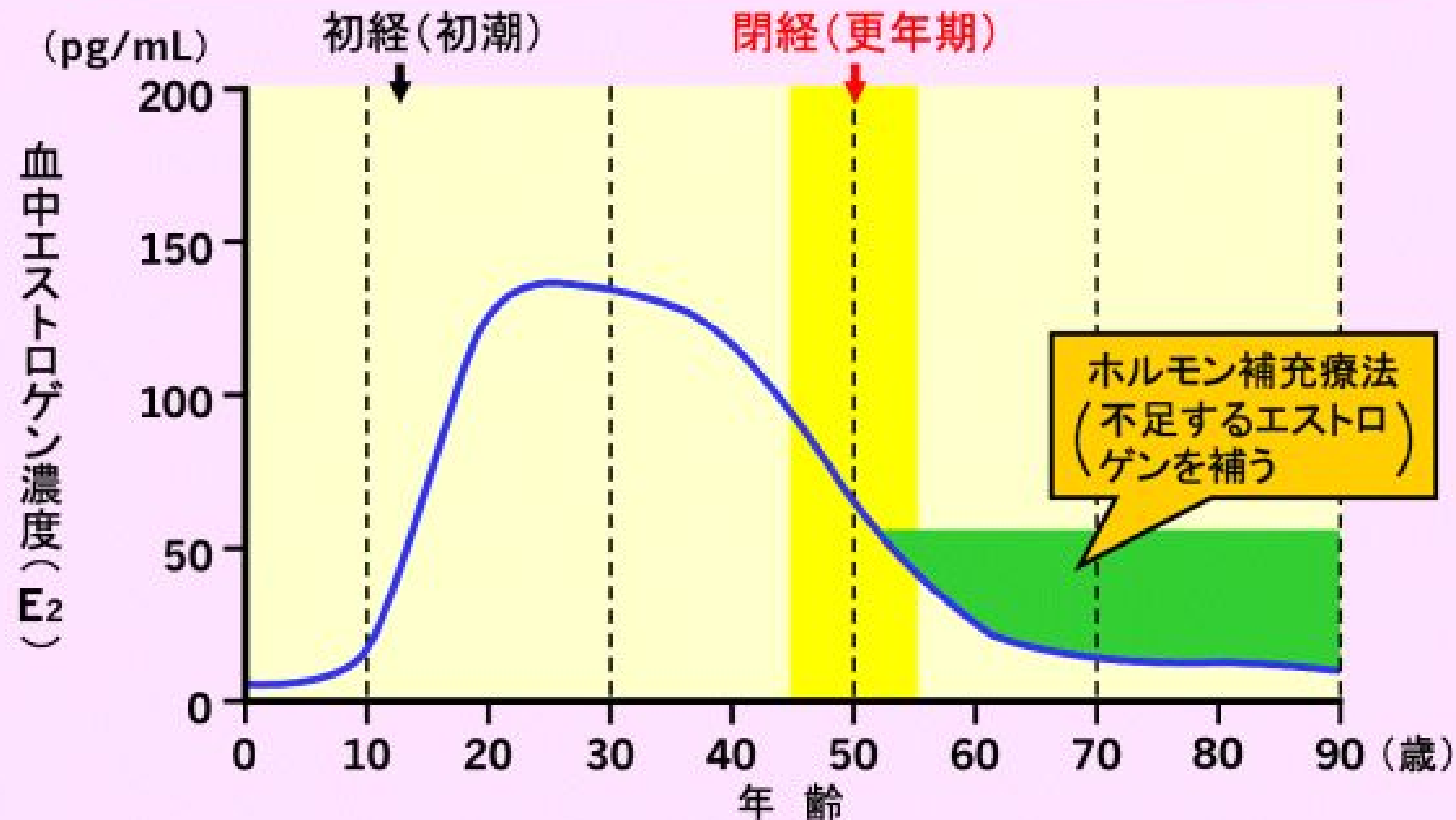
血中FSH 常に30mIU/mL以上



閉経の目安

ホルモン補充療法（HRT）とは

HRT=Hormone Replacement Therapy



中村元一 監修：更年期障害とホルモン補充療法（HRT）について（PM002）



ホルモン補充療法（HRT）の薬の服用方法は？

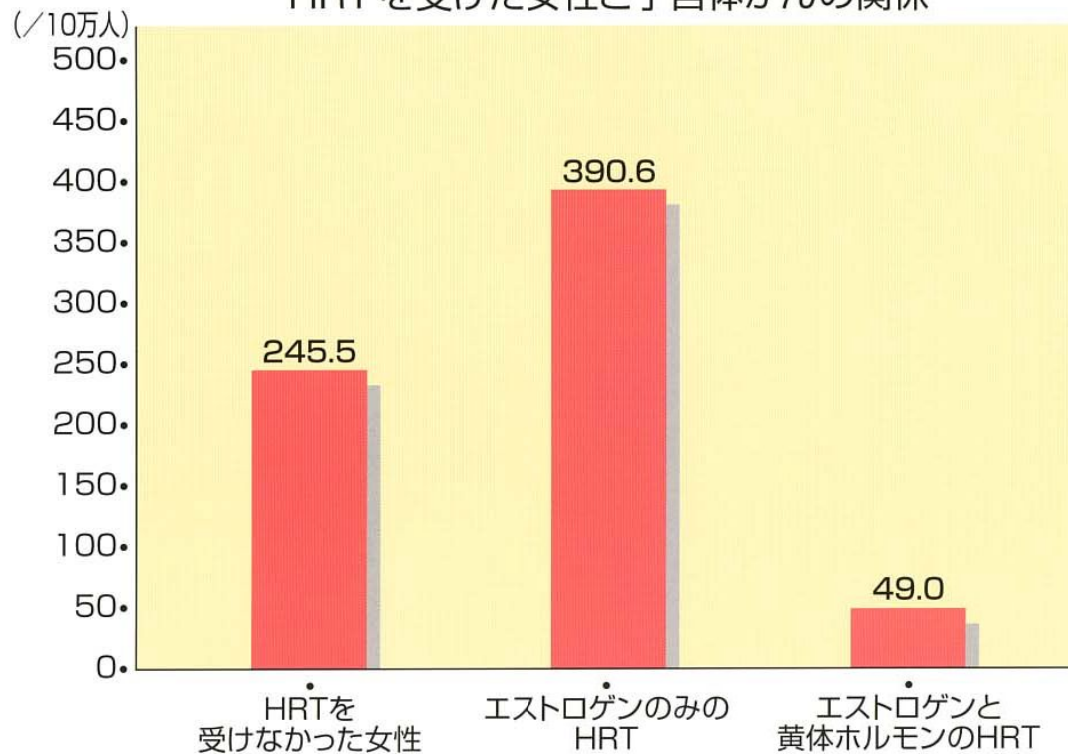
HRTには子宮の有無、閉経からの年数等を考慮して下の図にあるような、いろいろな投与方法があります。担当の医師とよく話し合って、貴女にあった服用方法を選ぶことができます。

	投 与 方 法
エストロゲン 単独投与方法	1ヵ月 (周期的) エストロゲン 5～7日間休薬 2ヵ月
	1ヵ月 (連続的) エストロゲン 2ヵ月
エストロゲン・ 黄体ホルモン 周期的投与方法	1ヵ月 エストロゲン 5～7日間休薬 2ヵ月 黄体ホルモン 12～14日間
エストロゲン連続・ 黄体ホルモン 周期的投与方法	1ヵ月 エストロゲン 2ヵ月 黄体ホルモン 12～14日間
エストロゲン・ 黄体ホルモン 連続的投与方法	1ヵ月 エストロゲン 2ヵ月 黄体ホルモン

がんに対する情報 その2

エストロゲンと黄体ホルモンのHRTでは、
子宮体がんへの影響はまず心配ありません。

HRTを受けた女性と子宮体がんの関係



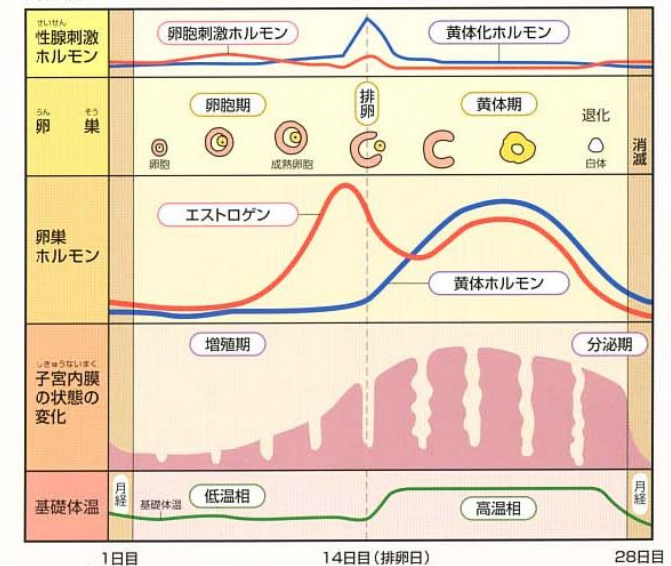
(R.D. Gambrell: Maturitas, 8, 159, 1986)

長い期間HRTを行う
場合には、子宮内膜保
護のために黄体ホル
モンとの併用が必要
なんですって。



“月経周期”

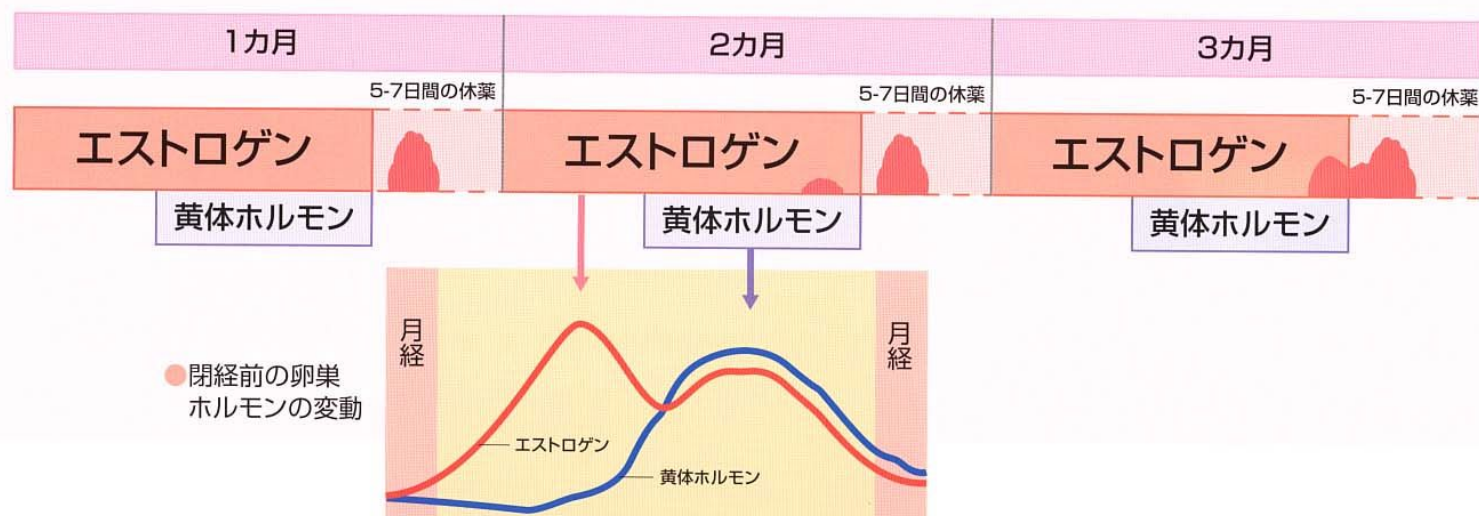
閉経前の女性は2つの女性ホルモンの働きで、月経周期を保っています。



女性ホルモンの投与方法 (Ⅱ)

子宮がある場合で、6カ月以上エストロゲンを続ける場合には、黄体ホルモンと併用する必要があります。

エストロゲン・黄体ホルモン周期的投与



子宮体がんの予防のために黄体ホルモンを併用します。

- 休薬期間中に性器出血がみられます（消退出血）が定期的な出血は問題ありません。
- 投与方法と投与量により3カ月に1度出血を起こすようにコントロールする場合があります。

エストロゲンを投与した時に注意すること

- **異常な出血**

(今までの月経で経験したことがないような出血)

- **乳房の痛み、はり**

- **おりものの増加**

- **腹部の膨満感**



これらの症状がおこった場合は、医師に申し出てください。

薬の投与量や投与方法をあなたに合わせて調整します。